

知多市新水道ビジョン（案）のパブリックコメント実施結果

- 1 実施期間 令和2年12月18日（金）～令和3年1月22日（金）
 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファクシミリ又は電子メール
 3 意見の提出者数 2人（17件）

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
1	1	1	1-1 知多市新水道ビジョン策定の趣旨	「環境の変化」 新型コロナウイルスへの配慮は必要ありませんか。	水道水の安全確保については、十分な対策を講じています。 現在、新型コロナウイルス感染症への対応は、知多市新型コロナウイルス感染症対策本部との連携を密にして、感染拡大防止などに取り組んでいます。 今後は、コロナ禍における業務を振り返り、日々の水道事業の運営体制を整えていく必要があると考えています。
2	2	5	2-2 水道事業の概要	次のように分かりやすいように変更しては。 「本市の水道は、自己水源を保有しておらず。・・・ 長良川の最下流にある、河口堰から導水した水を・・・」 理由：河口堰であることを明記すべき。 長良川の上流の水を持ってきているように勘違いする。	いただいたご意見を踏まえ、「長良川河口堰より約1.7km上流の長良川取水口から」と記述を見直します。 なお、取水口については、P3の「知多市の位置」を参照してください。
3	3	11	3-1 安心して飲める安全な水道 ③危機管理体制の強化 e)運用訓練などの実施	長良川に流れ込む、田でもし、農薬を入れすぎた場合の発見方法や、対策、マニュアルはありますか、また訓練されていますか。	県営水道では「水質事故及び施設事故に係る危機管理実施要領」や「水安全計画」を定め、水質監視や水質異常発生時の対策を行っており、農業に係る水質異常については、農業の使用が多くなる夏場に原水（取水口）及び浄水（浄水場）で各2回、水質を確認し、アンモニアの常時監視や金魚を使った生態監視も行っていると伺っています。 水源の水質汚染事故については、愛知用水水道事務所や近隣の水道事業者からの緊急連絡・情報収集に努め、所管部署と連携し、迅速かつ適切な対応を行います。また、定期的に訓練を行い、対応能力の向上を図っています。
4	3	13	3-2 災害や事故に強い水道 ②配水管の整備 b)管路の漏水調査と老朽管更新	「有収率 94.0% → 94.9%」 他市に比べ、良いのか、悪いのかも記載ください。	本市水道事業の現状分析などについては、「知多市水道事業経営戦略（P9 有収率）」（ホームページに掲載）をご参照ください。 なお、有収率は、知多5市平均（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市）と同じ水準です。

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
5	3	15	d)管路の耐震化（基幹配水管耐震化事業）	<p>「管路の耐震化率 目標（R2）7.7% 実績R1 10.8%」</p> <p>1) 耐震化率は他所と比べどうですか。</p> <p>2) 目標を前倒しで実施した理由はなにですか。</p> <p>3) 前倒し実施で、借入額が増加し、年間償還額が増加したのではないですか。</p>	<p>1) 本市水道事業の現状分析などについては、「知多市水道事業経営戦略（P10 基幹管路耐震適合率）」（ホームページに掲載）をご参照ください。 なお、耐震化率は、知多5市平均を下回っています。</p> <p>2) 事業の前倒しは、前ビジョンから目標を設定し、事業を実施していますが、その後、東日本大震災の経験や、近い将来発生が危惧される大規模地震に対して危機管理対策が喫緊に求められているため実施しました。</p> <p>3) 償還額は増加しましたが、基幹配水管の被災は市民生活に甚大な影響を及ぼすことから、できるだけ早期完成を目指し、計画を精査して事業を進めていきます。</p>
6	3	18	3-3 健全な経営で信頼される水道 ②効率的な事業運営 b)経営の健全化	<p>「総収支比率目標105%に対しR1年に107.3%と大きく達成」</p> <p>1) 目標を大きく達成した理由は、何ですか。</p> <p>2) 他市に比べ、良いのか、悪いのかも記載ください。</p>	<p>1) 新水道ビジョンに記載のとおり、総収支比率の目標を大きく達成した理由は、平成26年度に地方公営企業会計制度の見直しによる新しい会計基準を適用したことで、これまで適用されなかった項目が追加され、経理上の収益が増加したためです。</p> <p>2) 本市水道事業の現状分析などについては、「知多市水道事業経営戦略（P13 経常収支比率）」（ホームページに掲載）をご参照ください。 なお、総収支比率は、利益水準が低いことから、知多5市平均を下回っています。</p>
7	3	19	c)適正な水道料金の設定	<p>「水道料金」 県下の水道事業で、犬山市と弥富市で3倍の格差がある模様ですが、現場視察、事例研修として参考にすべき点はないのでしょうか。</p>	<p>水道事業の健全な運営を確保するために、水道料金は適正な原価で算定し設定しております。 各事業体での料金については、それぞれの事業体の施設規模や事業運営における中長期的見通しに立った分析により設定しています。 そういった中で、いただいたご意見を踏まえ、各事業体の運営において参考にできる点につきましては調査研究していきます。</p>
8	3	19		<p>「安定した経営を維持するためには、料金改定（値上げ）が必要」 現状は、総収支比率も大きく達成し、R6まで黒字であり、今年に値上げを急ぐ必要がない。 特に、コロナウイルスで職を失った人が増加するなかで、今値上げはすべきではないと思います。</p>	<p>基幹管路の耐震化や、老朽化する施設更新需要に備え、給水収益の増収を図り内部留保資金を増額する必要があります。 「知多市水道事業経営戦略」の収支見通しに示すとおり、将来にわたって水道事業の経営を持続していくために、また後年負担が過剰とならないよう、段階的な料金改定が必要と考えています。</p>
9	3	21	3-4 環境に配慮した水道 ②再生可能エネルギーの導入 b)再生可能エネルギーの有効利用	<p>「再生可能エネルギーの有効利用・・・取り止めた。」</p> <p>1) 取り止めた報告書を明らかにしてください。</p> <p>2) 投資回収年数は、何年ですか。</p>	<p>1) 配水場の老朽化対策や維持管理を実施するうえで、太陽光発電などの設備が支障になるため、取りやめました。</p> <p>2) 上記の議論より、投資回収年までの検討には至っておりません。</p>

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
10	4	25	4-2 内部環境の変化 ①管路の老朽化	<p>「法定耐用年数(40年)」</p> <p>1) 法定耐用年数は、減価償却費をする期間であり、設備の実際の耐用年数ではありません。設備の耐用年数は、使用環境、防食対策の状況(電気防食の有無など)、各管(ポリエチレン管、鋼管、鋳鉄管とか)の定点測定結果などから、腐食速度などを計算し耐用年数を決める必要があります。そうしているのですか。</p> <p>2) 定点の肉厚または、強度測定など腐食管理はされているのですか。</p>	<p>1) 設備の耐用年数については、「知多市水道施設整備基本計画(R2.3)」のなかで、更新基準の設定を行い、法定耐用年数を超過しても物理的理由・経済的理由等を勘案し、健全性を保ちながら使用できる年数(更新基準年数)を設定しております。その中で、管種により更新基準年数に相違があり、40年から100年を基準としています。</p> <p>2) 定点管理はしていませんが、腐食しやすい鉄管については、給水工事時等に立合いをし、管の腐食度合の確認を行っています。</p>
11	4	25		<p>「法定耐用年数(40年)」</p> <p>水道配水用ポリエチレン管路が100年以上の寿命を十分あることが証明されていますが、どう考えていますか。</p>	<p>ポリエチレン管は、平成12年に日本水道協会が水道用に追加する規格改正をし、また水道事業ガイドラインに耐震性の基準を満たしていることから、本市水道事業においても、口径を定め採用しています。</p>
12	4 6	26 45	4-3 新たな取組 ⑤水道広域化の検討 6-3 確かな水道 ③連携の推進 f) 広域化の検討	<p>「水道広域化」</p> <p>県の関与・牽引が不可欠であると思われませんが、事前の打合せ・予備会合等はなされていますか。</p>	<p>新水道ビジョンに記載のとおり、平成25年度から県が主体となって、「愛知県水道広域化研究会議」が設置され、本市水道事業も参加して、実現可能な広域化の調査・研究を行っています。</p> <p>広域化に向けては、市町間の連携と問題意識の統一が必要不可欠であり、今後も、料金徴収、施設維持管理、水質管理などの「管理の一体化」について、近隣市町と協力して効率よく業務を進める方策の研究を進めていきます。</p>
13	5	29	5-3 将来の理想像 【安全】信頼される水道	<p>「水道水の水質は、配水場から給水栓に至るまで・・・」</p> <p>「水道水の水質は、水源から給水栓に至るまで・・・」と変更すべき。</p> <p>p46にある、HACCPにもあるよう、水源から管理するのがあたりまえ。</p> <p>1998年から川の最下流の河口堰(長良川)の水を100%飲料水に使っている、日本で唯一の地域であることを忘れないように。</p> <p>県まかせにはいけない。知多市は、川の河口の水を100%飲む、恐らく日本では最もリスクを犯している市です。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、P29の記述につきましては、「水源から」と見直します。</p>
14	6	45	6-3 確かな水道 ③連携の推進 g) 民間活力の活用	<p>「民間活力の活用(民営化)」</p> <p>契約書の要求水準・リスクハッジの妥当性等、検討を求めたいと思います。</p>	<p>民間活力の活用にあたっては、サービス水準の維持のためリスクハッジを整理し、要求水準との整合性をモニタリングすることが必要であると考えています。</p> <p>水道事業の広域化と並走し、いただいたご意見を踏まえ、検討をしていきます。</p>

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
15	6	46	6-4 信頼される水道 ①安全な水の提供 a)水安全計画の策定	<p>「水安全計画の策定」</p> <p>1) 水道水管理目標設定項目(27項目)(農薬類)の最近の値の推移と目標値との関係は、ホームページで確認できますか。</p> <p>2) 農薬類 愛知県は、120項目を指定していますが、検出されている農薬は、具体的には何ですか。測定値は?</p> <p>3) 長良川の上流、中流、下流域を含め。水源保全の取り組みはどのようなことをしていますか。</p>	<p>1) 水道水質管理目標設定項目の検査結果並びに目標値につきましては、県水質試験所ホームページに公表されている水質年報にて過去5か年分を確認できます。</p> <p>2) 県水質試験所ホームページに公表されている水質年報によると、農薬類は、国が定める対象農薬リストに掲載されている項目について検査をしています。平成28年度に、長良川取水口の原水において、ピロキロンが検出され、測定値は0.0008mg/l(目標値:0.04mg/l)でした。平成29年度からは、全ての項目の測定値が報告下限値未満であり、目標値を満たしています。</p> <p>3) 長良川の上中流域において水源林の育成や河川清掃などの人の管理により、河川環境の保全活動に取り組んでいると伺っています。</p>
16	6	46		<p>「水安全計画の策定」</p> <p>知多市の自殺者(10万人当たり)の推移は、H17:26.4人、H18:9.6人、H20:27.2人、H22:13.0人、H22.4:22.4人、H25:13人となっています。H18、H22、H25年が前後の高い時の半減となっています。これは、国県の自殺者の推移、国(20~25人)、県(18~22人)とも大きく異なり、大変不思議な変化をしています。</p> <p>脳神経科学者である黒田洋一郎氏は、農薬の危険性を訴えていることから、知多浄水場の活性炭使用量を確認したところ、活性炭使用量の多い時期に自殺者が低下することと相関するように考えられます。</p> <p>資料を添付します。</p> <p>(活性炭は、一般に農薬を吸着すると言われています。)</p> <p>これだけの情報では、因果関係は、明確ではないですが、予防原則(予防のための政策的決定)として、一度木曽川水系に切替へ、その間に安全性を検討すべきではないかと思えます。</p>	<p>長良川の水は水道水質に問題はなく、湧水にも強い水源であり、新しく取水を求め木曽川に戻すことはできないと認識しております。</p>
17	6	47	②安全な水への理解 e)広報活動の充実	<p>農薬の混入による安全性が証明されていないことや、農薬混入時の対応など安全性が証明されて、安全な水との広報すべき。</p> <p>安全な水の広報は、中止すべきと考えます。</p>	<p>本市水道事業は、水質基準に適合するように、県営水道と連携し、水道システムを整備・管理し、安全性を確保しています。</p> <p>その方策の一つとして、知多市水道水質検査計画を毎年定め、水質基準項目について検査を定期的実施し、その検査結果を公表することが大切であると考えています。</p> <p>今後は、「水安全計画」を策定し、安全対策に努めます。</p>